



7人の各専門医の先生がきめ細かく診察した

南国 (ライオンズクラブ) が
無料検診

南国ライオンズクラブ (包围正年会長) が十一月十日、無医地区の奈路、黒滝での無料検診を行いました。これは、地域に密着した奉仕活動の一環として行われたも

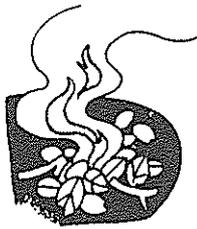
無医地区の
奈路、黒滝で

ので、今年で三回目。

当日は、クラブ員の内科、外科、整形外科、耳鼻科、歯科のそれぞれの専門医七人が参加。

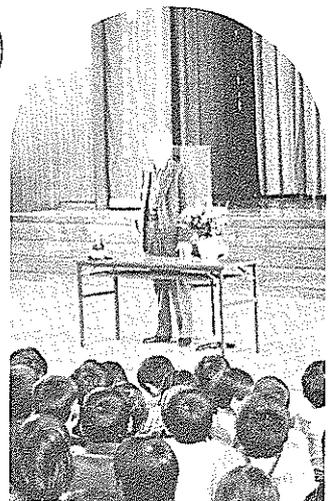
午前中は奈路小、午後からは黒滝青少年自然の家 (旧黒滝小) を会場に、それぞれのコーナーに分かれ検診を行い、検診後には保健婦さんからの保健指導も行われました。

両会場とも地区の人たちが健康手帳を手に続々と訪れ、ある人は「せっかくお医者さんが来てくれたので全部受診していく。ありがたいことです」と喜んでいました。この日、両地区で検診を受けた方は四十三人。ライオンズクラブでは、来年も続けていくとのこと



民話のおじいちゃん (宇野重吉さん)

長岡小を訪問



宇野重吉さんの訪問に大喜び

十一月十六日、来高中の俳優宇野重吉さんが長岡小学校 (坂本博校長、四百十四人) をひよっこり訪問。

これは、長岡小学校区の東部保育所保育、伊尾木あやさんが今年三月、朗読テープ「おじいちゃんのむかしばなし」の宇野さんに、子供たちの手紙と絵を送ったのがきっかけ。

伊尾木さんは昨年、担任の年長組の子供たちに宇野さんの民話のテープを聞かせていました。そして、子どもたちも大ファンとなり

三月に来高したとき、子供たちの手紙や絵を渡し、すると宇野さんからは、民話のカセット六巻が届けられました。現在、子供たちも長岡小の一年生になり、そのテープは昼の休み時間に放送されています。

その宇野さんが来てくれると、子供たちは大喜び。

長岡小の全校生徒、東部保育所の園児らが待つ体育館に、午前十一時過ぎ現われると、盛んな拍手で迎えられました。早速子供たちは、「どうして、昔話が上手なんですか」「自分以外の人を演じるときはどのように」など質問すると、宇野さんは「大切なことは、人のすることをよく見聞きし、わかるうとし忘れず、身につけるとだね」と、答えていました。

最後に、子供たちの強い要望にこたえて、予定になかった民話を朗読。その語り口に、子供たち、父兄も聞き入っていました。